

## 令和6年度の主な数値目標

### 1 バランスのとれた知・徳・体の育成

- ◆「国語の授業が分かる」とする小中学生の割合を小95%、中95%に高めます。
- ◆児童生徒のいじめの解消率を100%に高めます。
- ◆山梨県新体力テストにおける体力合計点(80点満点)を小56点、中47点に高めます。

### 2 ふるさとに誇りや愛着を持ち、活躍できる人材の育成

- ◆「将来の夢や希望を持っている」とする小中学生の割合を小90%、中80%に高めます。

### 3 家庭・地域・学校による教育の推進

- ◆「今住んでいる地域の行事に参加している」とする小中学生の割合を小85%、中65%に高めます。

### 4 生涯学習・文化活動の推進

- ◆市公民館等の利用者数143,000人を目指します。
- ◆郷土史教育研修、地域学習への出前授業の参加者数1,360人を目指します。

### 5 スポーツの推進

- ◆ラジオ体操事業への参加者数34,000人を目指します。
- ◆市内スポーツ施設の利用者数480,000人を目指します。

### 6 図書館活動の推進

- ◆市立図書館の入館者数490,000人を目指します。
- ◆幼稚園、保育園、児童館等への貸出し数12,500冊を目指します。

### 7 質の高い教育のための環境整備

- ◆年間20回以上「きずなの日」を実施している学校の割合を100%に高めます。
- ◆「校務支援システムを十分に活用している」とする教職員を90%にします。

### 8 多様な学びの機会の充実と提供

- ◆「甲斐市子どもの学習支援事業」に参加した生徒が、満足だったと感じる割合を90%にします。
- ◆特別支援教育に関連した研修を受けた教員の割合を小95%、中85%に高めます。

第2次創甲斐教育推進大綱は甲斐市ホームページで公表しています  
<https://www.city.kai.yamanashi.jp/>



# 第2次 創甲斐教育推進大綱

令和2年度～令和6年度

本市教育の一層の振興を図るために、新しい時代を迎えた今、変わりゆく社会の状況を的確に見据えながら、これからの甲斐市にふさわしい教育行政の在り方や施策の基本的方向を明確にする必要があります。

この大綱は、本市教育を推進するための基本指針となるものであり、教育の基本理念等を示すとともに、今後取り組むべき施策を明らかにするものです。

また、甲斐市の独自性として掲げている「国語力の向上」、「自己表現力の向上」、「体力の向上」を第2次創甲斐教育の推進事業の中で実現していきます。

## 基本理念

### 「甲斐市で育ち、甲斐市を育てる人づくり」

豊かな自然環境と利便性の高い都市機能が共存する「甲斐市」で、学び育つ子どもが、心身ともに成長し、社会人となり甲斐市内外で子育てをし、甲斐市を「ふるさと」として育てていく「人づくり」を目指していきます。

## 基本目標

### 1 「心豊かにたくましく、共に生きる甲斐っ子づくり」

家庭・地域・学校・行政等、社会全体が連携・協働して子どもたちを育てていく体制の整備を推進し、知・徳・体のバランスのとれた子どもを育成し、ふるさとである甲斐市に誇りや愛着を持ち、社会で活躍できる人づくりを推進します。

### 2 「人生を豊かにする学びとスポーツの環境づくり」

誰もが生き甲斐のある生活を送れるよう、生涯学習・スポーツの意義について理解を深め、レクリエーション、文化・芸術鑑賞の機会等を充実させ、得られた「学び」を、「伝える」循環が生まれる社会基盤づくりを推進します。

### 3 「だれもが安心して学べる教育環境づくり」

安全で安心な教育環境を実現するため、教職員の働き方を見つめ直すとともに、学校施設の整備や学校運営の充実に努めます。また、すべての子どもたちの学習機会の確保を図ります。

